

令和4年度  
教育課程特例校における特別な教育課程  
【実施状況報告】

箕面市立止々呂美中学校

## 1.概要

箕面市では平成27年4月から教育課程特例制度を活用し、箕面市立中学校の全学年において、「英語コミュニケーション科」を設定し、全ての学年で毎日英語に触れる取り組みを行っています。

市内の中学校では、年間140時間（週4時間）の外国語科（英語）に加えて、総合的な学習の時間から年間30時間削減し、「英語コミュニケーション科」の授業時数に充てています。英語コミュニケーション科を週に1時間程度設定することで、毎日英語に触れられる環境作りを行うことができています。特別の教育課程を実施することで、9年間を通して子どもたちが毎日英語に触れられる環境作りを行っています。

## 2.学校関係者からの意見

- ・本当に英語力を高めることを考えているなら、小学校の時につまづいている子どもたちのフォローが必要。
- ・英語に力を入れているので、成果が表れてきていると感じる。
- ・外国の方と話せる機会をもっと増やしてほしい。（ALT先生をもっと活用してほしい。）
- ・外国の子どもとコミュニケーションできる時間があれば、もっと英語に興味を持ち、取り組みがしやすいと感じている。

## 3.今後に向けて

- ・今後も、英語コミュニケーションに慣れ親しみ、スピーキング能力・リスニング能力を高めるために各校に3名以上配置されているALT（英語指導助手）を中心に授業を展開していく。授業以外でも、生徒がALTと英語でコミュニケーションをとる機会を増やし、自然と英語に親しみがもてるようにする。
- ・全国と比べて、英語が楽しいと感じている割合や、身に付いている英語力は高いが、今後もより多くの子どもが、英語に触れることが「楽しい！」と感じ、自主的に英語力が身に付けられるような取り組みを進める。